

トヨコ通信

2005年 2月号

ホームページ <http://www.sasada-toyoko.jp/>
e-mail sanbal@sasada-toyoko.jp

発行 : 日本共産党笹田トヨコ後援会
発行日 : 2005年 1月28日 第29号
連絡先 : 大垣市鳩部屋町41
日本共産党大垣市後援会
Tel 74-3449 Fax 73-8572

考えてみませんか ～男女共同参画～

大垣市は平成15年3月に「大垣市男女共同参画推進条例」を制定し、平成16年4月には男女共同参画推進室という部署ができました。さらに、今度の3月議会には県内初の都市宣言となる「男女共同参画都市宣言」の上程が予定されています。

そこで「男女共同参画」について考えてみました。

男女共同参画社会とは？



男女共同参画社会とは、「性別をこえ、年齢をこえ、男女が互いに人として尊重され、家庭・職場・地域において共に参画し、責任もわちあう」というのが男女共同参画で、性別に関わりなく能力を発揮できる、その人らしく生きられる社会を作りましょう、ということです。

こんなカベがまだまだ…？

- 「自治会長」や「PTA会長」など、地域のなかで「長」のつく仕事はほとんど男性
- パパが市役所で子どものオムツをかえようとしたら、女性用トイレにしかシートがなくて困った
- 子どもの行儀が悪いと「母親のしつけが悪い」と言われる
- 夫は早朝に出勤して深夜に帰宅。育児への協力が望める状況ではない
- 民間では育児休暇取得実績のない会社がまだまだ…
- 介護は嫁がやってくれるものと期待されている など

男女共同参画センター

調べてみて、子育てサロンや生涯学習センター、まちづくりセンターなどを複合した「男女共同参画センター」が中心市街地にできるといいと思いました。

県内では岐阜市に「女性センター」というのがありますが、そこでは女性だけでなく、男性むけ、親子むけ企画など、様々な講座が行われており、NPOなどいろいろな団体が主催しています。また健康や法律、労働など様々な相談業務も行われており、男女を問わず、年齢を問わず足を運んでみたくなるような取り組みがなされています。

男女共同参画は、行政だけでなく企業も市民もみんなと一緒に作り上げるものですから、それらの活動をつなぐ場として、中心市街地に「男女共同参画センター」のような拠点を設立すれば商店街の活性化にもなるのではないかと感じました。

【参考 岐阜市女性センター】

<http://www.ocn.aitai.ne.jp/~heartful/josei-c/>
多彩な講座（託児つき）…紹介はごく一部です

- ・パパ、ママと一緒に楽しいおはなし会
- ・おんなひとりで旅に出よう
- ・男性の小物手芸教室
- ・パソコンDE自分史
- ・男女共働社会の経済学



お し ら せ

予防接種が変わります

結核予防法の一部が改正され、BCGの接種年齢が平成17年4月から「生後6か月に達する期間まで」となり、4か月検診で接種される予定です。そのため平成15年11月1日～平成16年11月30日生まれの子、またはBCG接種日に4歳未満の未接種の子は接種時期が変更になりましたのでご注意ください。

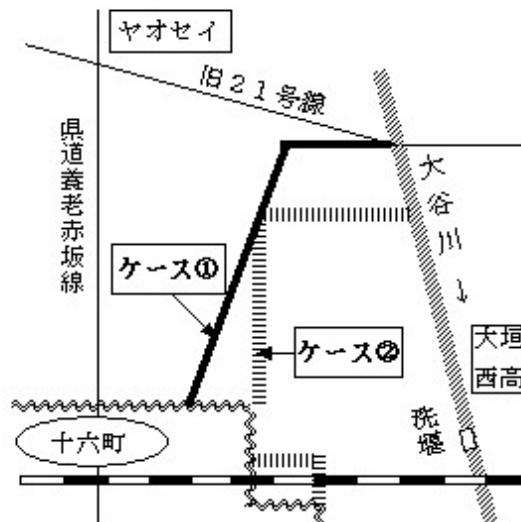
対象地区	会場	かゆり	BCG
中川	中川ふれあいセンター	1/26	1/28
赤坂・宇留生	赤坂総合センター	2/1	2/3
静里・綾里・荒崎	西部研修センター	2/2	2/4
南・北	総合体育館	2/7	2/9
東・三城	総合体育館	2/21	2/23
南杭瀬・多芸島・洲本	武道館	2/28	3/2
和合・興文・西	総合体育館	3/1	3/3
安井・川並・浅草	武道館	3/9	3/11

市民に知らされなかった県の輪中堤案

平成14年7月の荒崎水害の後、岐阜県は「大谷川右岸地域に輪中堤を築造する」遊水地案を検討していましたが、大垣市民の目に触れることはありませんでした。

この案はA案「洗堰高上げ案（現在案）」、B案「輪中堤案」、C案「輪中堤+洗堰高上げ案」からなっており、輪中堤の規模として「県道を使って築造する案（ケース①）」と「市街地をさけて築造する案（ケース②）」とに分けてかかる費用を試算しています。費用はC案で64～73億円で、これに遊水地になる用地の買収または地役権設定の費用が試算されています。

案	内容	費用
案A (洗堰高上げ案) (現在案)	合計	約50億円
	・洗堰高上げ ・関連堤防補強 (大谷川、相川、泥川)	約50億円
案B (輪中堤案)	合計	約52～61億円
	・輪中堤築造	約14～23億円 (他に堤外地の用地費全筆買収の場合：約165～210億円、地役権設定の場合：約50～63億円)
	・関連堤防補強 (大谷川左岸、相川、泥川)	約38億円
案C (洗堰高上げ+輪中堤併用案)	合計	約64～73億円
	・輪中堤築造	約14～23億円 (他に堤外地の用地費全筆買収の場合：約165～210億円、地役権設定の場合：約50～63億円)
	・洗堰高上げ ・関連堤防補強 (大谷川、相川、泥川)	約50億円



小川市政 治水に真剣に向き合う気があるのか？

大垣市は昨年の23号台風からも明らかのように、地理的条件からいっても遊水地が必要な地域です。私は平成15年9月議会でも「大谷川洗堰周辺を遊水地緑地」と提案しました。当時の答弁は「住民合意」が前提で「固い堤も治水対策案のひとつとして考えられるので、今後の課題としたい」というものでした。しかしその後、大垣市は住民合意のための具体的な対策は何ら行っていません。県は対応策として遊水地を確保する輪中堤築造案を作成していましたが、議会への報告すらありませんでした。

「荒崎水害は大垣市民の問題である」とし、この案を市民全体で検討することが大切ではないでしょうか。小川市政の治水に対する姿勢が問われます。

小川市政 問題山積の飛び地合併を強引に推進

上石津町、墨俣町とも財源の多くを地方交付税に頼り、下水道事業による多額の負債の償還など多くの問題が予想され、与党内でも意見が真っ二つに分かれました。このような問題の多い飛び地合併について、小川市長は住民意向調査を行わないで、2月臨時議会で合併協の立ち上げ、3月議会で議決するという強引な進め方をしようとしています。

お役立ち情報コーナー ～木造住宅の耐震助成～

診断

市は、木造住宅の所有者が岐阜県木造住宅耐震相談士による耐震診断を実施される場合、その費用の一部(限度額2万円を助成します。
*対象建築物/ ①昭和56年5月31日以前に着工されたもので、階数が2階以下のもの ②延べ面積の過半の部分が住宅であること ③プレハブ工法等の住宅でないもの ④特別な認定を得た工法による住宅でないもののいずれにも該当する建築物

補強工事

市は、木造住宅の所有者が耐震補強工事を実施される場合、その費用の一部を助成します。
対象建物/大垣市木造住宅耐震診断助成事業による診断の結果、建物評点【5段階評価】が2(やや危険)、1(危険)のもの
対象工事/建物評点を4(一応安全)以上に耐震補強工事で、岐阜県木造住宅耐震相談士による設計および工事監理のもの
助成金額/工事にかかった費用の2分の1(限度額60万円)。

申し込みなど詳しくは市建築課(81-4111内線 684)へ

庭の花 ～フクジュソウ(福寿草)～



前号ではまだかたい蕾でしたが、やっと開きました。寒くなると閉じてしましますが、陽が射ってきて温かくなるとくるとばあっと

見事に開いて、鮮やかな黄色を見せてくれます。残る蕾は10余り。次々に花開いてくれそうで楽しみです。